

トップアスリートの県内定着のための取組について

1 現状（これまでの取組）

三重とこわか国体で天皇杯・皇后杯の獲得と、その後の安定的な競技力の確保のため、県内外のトップアスリートの県内定着のための取組を進めています。

（1）県内企業への就職支援

県内企業の協力を得て、平成 27 年度から、トップアスリートの県内企業への就職支援を行っています。

これまでに県内企業 151 社から求人登録を得ており、就職者数（平成 30 年 4 月採用内定者を含む）の累計は 32 名となりました。

（2）教員としての採用

平成 28 年度（平成 29 年 4 月採用）の三重県公立学校教員選考試験から、三重とこわか国体において競技者としての活躍が期待でき、国体後も引き続き専門性の高い指導者として活躍できる人材の採用をねらいとして、「スポーツ競技者特別選考」を実施しています。

平成 29 年 4 月に 2 名を採用しました。また、平成 30 年 4 月に 2 人を採用する予定です。

（3）県職員としての採用

平成 29 年度（平成 30 年 4 月採用）の三重県職員採用試験から、三重とこわか国体において競技者として活躍が期待でき、国体後も引き続き競技スポーツや地域スポーツなどのスポーツ分野において、県施策の推進に取り組むことができる人材を採用するため、新たな試験区分「行政Ⅲ」を設け実施しています。

平成 30 年 4 月に 2 名を採用する予定です。

【スポーツ競技者特別選考（教員）及び、行政Ⅲ（県職員）の申込資格（競技実績）】

スポーツ分野において、試験実施年度前 3 年間（ただし、オリンピックなど 4 年に 1 度開催される国際大会については 4 年間）に、下記に掲げるいずれかの成績を収めた人

- ア 国際大会（オリンピック大会、世界選手権、アジア大会及びそれらと同等の国際大会）に日本代表として出場した選手
- イ 全国大会（国民体育大会、全日本選手権大会、全日本実業団選手権大会及びそれらと同等の全国大会）に出場し、個人種目は 3 位以上、団体種目は 8 位以上の成績を収めた選手

2 課題と今後の取組

三重とこわか国体での天皇杯・皇后杯獲得のため、今後も県内外のトップアスリートへのスカウティングと、就職支援等による県内定着への取組をいっそう進める必要があります。

特に、トップアスリートには行政、教員、警察、消防など各種公務員を希望する者も多いことから、県内企業・団体、県、市町など官民が一体となった取組を進めていきたいと考えています。